

現在実施している感染症予防対策への取り組み

対面授業の開始に伴い、武蔵野音楽大学では新型コロナウイルス感染症予防対策として、次の取り組みをおこなっています。

1. 学生の健康状態確認

大学に来校する日には必ず検温をして風邪の症状がある場合や同居する家族に感染の疑いの症状がある場合には来校しないように指示しています。

2. 教職員の健康状態確認

出勤前に検温して風邪などの症状がある場合には出勤しないようにしています。

3. 入構確認の徹底

入口で学生証や身分証、マスク着用の確認とレーザー体温計で検温をおこなっています。



4. 手指の消毒液設置

学内入口など学内随所にアルコール消毒液を設置しています。

また、アルコールアレルギーの方向けに除菌消臭衛生水も用意しています。



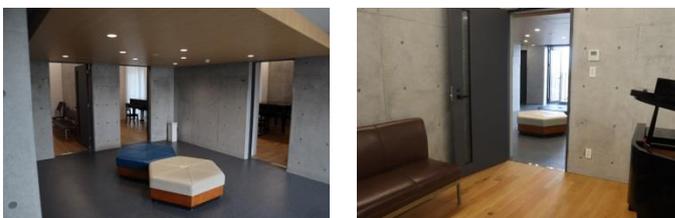
5. 共用部の定期消毒

ドアノブや手すりなど多くの方が触れる箇所は清掃員が巡回し消毒をおこなっています。

また、室内の消毒も定期的を実施しています。



6. レッソンの合間には換気するよう徹底しています。



7. レッスン室や窓口などにパネルを設置

管楽器のレッスン室や窓口などに飛沫防止パネルを適宜設置しています。



8. 入構人数制限の実施

通常時の3割から4割程度に入構者数を制限しています。また、教室やキャンパスレストランなど人が集まる場所は座席を間引いて、窓を開放しています。



9. エレベータの使用について

密を避けるため階段の利用を推進し、エレベータの定員は4名に削減しています。



10. 最新の空調換気システム

2017年に完成した江古田キャンパスでは最新の空調換気設備（全熱交換）を取り入れており、常に外気との空気の入れ換えがおこなわれていますので、安心して授業やレッスンを受けられます。

